

山形県立中央病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用、または、提供されることを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問合せください。

研究課題名	JCOG2212A「高度リンパ節転移を伴う進行胃癌を対象としたJCOG試験の統合解析」
該当者	以下①～③の方を対象として研究を行います。 ①JCOG0001「高度リンパ節転移を伴う進行胃癌に対する術前CPT-11+CDDP療法+外科切除術の第Ⅱ相臨床試験」に登録された患者さん ②JCOG0405「高度リンパ節転移を伴う進行胃癌に対する術前TS-1+CDDP併用療法+外科切除の第Ⅱ相臨床試験」に登録された患者さん ③JCOG1002「高度リンパ節転移を伴う進行胃癌に対する術前Docetaxel+CDDP+S-1の第Ⅱ相試験」に登録された患者さん
当院の研究責任者	外科 野村 尚
研究代表者	国立がん研究センター中央病院 胃外科 吉川貴己
本研究の目的	高度リンパ節転移を伴う胃癌患者さんの最適なリンパ節郭清範囲を検討することを目的としています。
実施予定期間	2023年1月～2024年12月
研究の方法	リンパ節郭清効果インデックスを計算することで、最適なリンパ節郭清範囲を検討します。リンパ節郭清効果インデックスとは、それぞれのリンパ節の転移陽性割合(%)×転移陽性患者さんの5年生存割合(%)÷100で計算され、それぞれのリンパ節の郭清効果の指標となります。抗がん薬療法の臨床的な治療効果や組織学的な治療効果(手術標本から得られる治療効果)の情報とも照らし合わせて、今後の治療開発の基となるデータを解析します。 解析には、JCOGデータセンターで保管している既存の診療データに加え、各医療機関で保管している診療データを用いて行います。JCOG0001試験とJCOG0405試験に関しては、原発巣およびリンパ節転移に関するデータについて、各医療機関から新たに情報を収集することになります。なお、本研究によって、新たな受診や検査など、患者さんに対する新たな負担は生じません。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：診療録番号、生年月日、イニシャル、年齢、性別、病気の原発部位、リンパ節転移状況、治療方法、病理結果、転帰等 試料：なし
外部への試料・情報の提供・公表	JCOGデータセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。臨床情報や解析結果等のデータはJCOGデータセンターで半永久的に保管されます。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。
利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業はありません。
お問合せ先	外科 野村 尚 023-685-2626